

木ノ下流 <歌舞伎> の読み方、楽しみ方！

— 『義経千本桜』 を中心に —

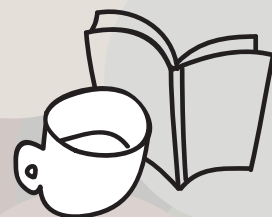


木ノ下裕一 (木ノ下歌舞伎)

小学校3年生の時、上方落語を聞き衝撃を受けると同時に独学で落語を始め、その後、古典芸能への関心を広げつつ現代の舞台芸術を学ぶ。2006年に古典演目上演の演出や補綴・監修を自らが行う木ノ下歌舞伎を旗揚げ。

2013年には『黒塚』公演で CoRich 舞台芸術まつり！ 2013 春グランプリ受賞。急な坂スタジオサポートアーティスト（2013 年度～）。2014～2015 年度シーズン文化財団ジュニア・フェロー。京都造形芸術大学大学院卒業。研究テーマは「武智歌舞伎論～近代における歌舞伎新演出について」

「歌舞伎って難しそう…」 「観るのに知識が必要な気がする…」 そんなあなたに朗報です！歌舞伎を現代演劇にアレンジし注目を集める木ノ下歌舞伎の上演に合わせて、主宰・木ノ下裕一がレクチャートークを行います。カフェで気軽に歌舞伎の世界に触れてみませんか？（今回上演される演目『義経千本桜』を中心に、能（『船弁慶』）や古典文学（『平家物語』）も交えてお話しします。）



2016年 5月11日(水) 19:30-

愛知芸術文化センター地下2階 アートプラザ内 喫茶アルス (協力：奥村株式会社)

受講料 無料 (1ドリンクオーダー制)

対象 演劇に興味のある方。歌舞伎に興味のある方。
舞台芸術に興味のある方。

申込み

メール ws7@aaf.or.jp

FAX 052-971-5541

- ① お名前
- ② 連絡先 (携帯電話番号またはメールアドレス。※当日連絡が取れる連絡先)

木ノ下歌舞伎
『義経千本桜』
— 渡海屋・大物浦 —

5月27日(金)～30日(月) 愛知県芸術劇場 小ホール
6月18日(土) ハートフルホール (豊川市御津文化会館)
作：竹田出雲、三好松洛、並木千柳
監修・補綴：木ノ下裕一 演出：多田淳之介 (東京デスロック)